

昭和飛行機工業株式会社 実証事業概要

令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業（大型実証 ASEAN加盟国）

プロジェクト名	フィリピン共和国／日比共創による航空機内装品 高レート生産体制構築実証		
企業名	昭和飛行機工業株式会社	企業規模	中小企業 中小企業以外
累計	類型1・ <u>類型2</u> ・類型3	分野	GX分野・ <u>DX分野</u> ・経済安全保障分野
事業費総額/補助対象経費総額/補助金申請額	39.4億円/32億円/16億円		

<p>事業概要 【想定事業スキーム】</p> <p>昭和飛行機工業株式会社 株式会社ジャムコ</p> <pre>graph TD; SAI[昭和飛行機工業 (日本)] --> SAIP[Showa Aircraft Industry Philippines Inc.]; JMC[ジャムコ (日本)] --> JMC_A[ジャムコエア クラフトインテリアズ (日本)]; JMC_A --> JMC_P[JAMCO PHILIPPINE S, INC.]; SAIP --> JMC_P;</pre>	<p>【概要】</p> <p>・本事業は、ジャムコ社をはじめとする国内航空機関連企業との連携のもと、Team Japanとして航空機産業のグローバルサプライチェーンにおけるプレゼンスを高めることを目的とする。 具体的には、設計・製造・品質・生産管理に関わるデータを一元的に活用しデータに基づいた生産体制を構築し、高レート生産においても品質・コスト・納期を安定的に両立可能な、堅牢かつ再現性の高い海外量産拠点の確立を目指す。</p> <p>【主な技術及び実証事業】</p> <p>本実証事業は、MES(工程可視化・工程管理・履歴管理)を活用した統合生産管理により、構造部材から完成品までの一気通貫生産体制を構築する。上流ではパネル製造、下流では組立・生産管理を分担し、Tier1レベルの納入体制確立を目指す。日比両拠点間でのデータ連携により、リアルタイムで進捗・品質・在庫を管理し、安定した生産性と高品質の維持を実証する。さらに下流では、人材育成や地元企業・航空訓練校との連携を通じて次世代技能者の育成に貢献し、航空内装生産の業界標準の形成にも寄与する。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>2026年度：フィリピン工場拡張着工、第1期設備導入、量産準備、各種システム導入設計 2027年度：第2機設備導入、システム導入・試運転、最終組立開始、EASA（欧州航空安全機関：European Union Aviation Safety Agency)の承認取得 2028年度：第3機設備導入・量産最適化、MES現場定着、高レート生産実証、スペア部品供給</p>
---	--

【本プロジェクトが両国裨益するポイント】

本プロジェクトは、航空需要の拡大が見込まれる中、日本、フィリピン両国への裨益をもたらす。

① フィリピンへの裨益

本事業により、フィリピン国内で航空機内装分野のTier1サプライヤーを育成し、グローバル生産ネットワークの中核拠点化を実現する。工程管理ソフトを活用した先進的生産モデルを提示することで、現地製造業の質的高度化を加速する。また、デジタル化による業務標準化・可視化を通じ、属人性に依存せず世界基準の品質管理を自律的に運用・改善できる高度専門人材を育成し、人材開発・スキル向上に寄与する。さらに、機能集積型Hubとしての供給網を強化し、持続的成長モデルの確立を促進する。

② 日本への裨益

本事業により、日本企業連合として欧米に次ぐ航空機内装品の供給極を形成し、国際市場でのプレゼンス向上を図る。フィリピンで構築した工程管理基盤（生産計画・在庫可視化・工程履歴の管理等）を国内にフィードバックすることで、国内拠点の生産性向上や高レート生産の標準化を促進する。また、国産原材料を中核とした高付加価値型サプライチェーンの強化により、海外依存リスクを低減。内製化や関連産業との連携を通じて航空宇宙産業の集積を進め、持続的成長と安定的な量産ビジネスモデルの確立に寄与する。